

# GRASS ROOTSに 名を刻め！

## — RESPECTから始める冒険 —

その89 (R05.12.06)

### ～ 人権朝礼 保健室からレッドリボンのお話 ～

今、保健室の廊下に、レッドリボンツリーが飾ってあるのを、知っていますか。赤いリボンで飾られた、クリスマスツリーです。「あっ、見た見た！」という人もいます。

芝根小でも、5年生の保健委員さんから小さな赤いレッドリボンを先生方にお配りしたので、近くで見た人がいるかもしれません。

このレッドリボンは、「エイズという病気にかかっている人を差別しないで、応援していこうよ。」というメッセージのリボンです。

これまでには、「エイズ」という病気にかかった子供が、友達から避けられ、「学校に来てはダメ！」と言われ、転校する、ということもあったそうです。

「エイズ」については、6年生になると保健の授業で勉強します。

まだ今は、一度かかると治らない病気ですが、今も世界中で3840万人もの人が「エイズ」という病気とともに生きています。

そして、12月1日は「世界エイズデー」として、「エイズ」という病気にかかっている人も、そうでない人も、みんな仲良く、一緒に生きていこう、というキャンペーンが世界中で繰り広げられました。

今は、レッドリボンの他にも、ピンクリボン、パープルリボン、オレンジリボン、シトラスリボンなど、みんなの人権に関わる、様々なメッセージリボンがあります。人権の勉強を深めたい人は、いろいろなカラーのメッセージリボンを、調べてみると、いいかもしれません。

この人権週間の間に、芝根小のみんなが自分のこと、そして、今、一緒に生きている、周りの人たちのことを、大事に、大切に、考える時間をもってもらえたら、うれしいです。

